

# 稲沢市観光協会ニュース

INAZAWA TOURISM ASSOCIATION NEWS



いなッピーバス(刈萱堂)にて



# 新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。

平成29年の新春を迎え会員の皆様には心からお喜び申し上げます。

稲沢市観光協会は、発足以来11年を迎えることができました。稲沢市の観光事業推進に事務局職員共々全力を傾注してまいりましたが、その間会員皆様方の一方ならぬ御協力と御支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年3月には、「いなざわ梅まつり」、4月の各地での「桜まつり」と「植木まつり」、6月の「稲沢あじさいまつり」、10月の「サンドフェスタ」、「稲沢まつり」、11月の「そぶエイチョウ黄葉まつり」など各季節に応じた稲沢の特色を生かした行事には、市内外から大勢の方々を訪れ、稲沢の自然を楽しんでいただきました。

特にそぶエイチョウ黄葉まつりにおいては、旅行社との連携をとりながら来場された観光客へのボランティアガイドを行い、地元民ならではの詳細な説明をすることで、遠方からの旅行者に喜んでいただくことができました。こうした取り組みを行う中で、さらに市外の方々の受け入れやおもてなしを行うため、観光ボランティアガイドの育成が急務でありますので、養成のための研修には特に力を注いでまいります。

9月に旅行社の協力を得て実施しました「モニターバスツアー」や10月から実施いたしました「おすすめグルメシールラリー」につきましては、市内外の多くの方々に参加していただき好評を博したところであります。皆様方の御協力に感謝申し上げます。

近年、日本への海外からの旅行者の増加傾向が顕著で、国が目標としていた2千万人はすでに突破し、2020年に向けて新たに4千万人の目標が設定されたところであります。これらの経済効果は非常に大きなものであり、本市においても、おもてなしの心で多くの観光客をお迎えしたいものであります。

本年も、関係機関との連携強化に努め、1月5日には新春関連コースとして稲沢五社寺めぐりと題した名鉄ハイキングへの協賛やその受け入れ、3月上旬の「第11回いなざわ梅まつり」の開催をはじめ、観光資源の発掘、情報発信の充実を図りながら、多くの皆様にお越しいただけるよう努力してまいります。

今後とも会員の方々を始め、市民の皆様の御支援と御協力をよろしくお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



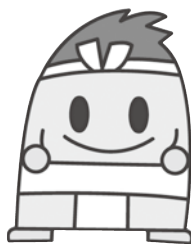
稲沢市観光協会 会長  
山田 信行



稲沢市のキャッチコピー



稲沢市長  
加藤 錠司郎



©稲沢市 いなabee

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに清々しい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また平素より、市政の各般にわたりまして、御支援と御協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

日本を訪れる外国人観光客の数は、昨年2016年(平成28年)は10月の時点で初めて約2000万人を突破し年々増加傾向が続いています。2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピック開催や2027年(平成39年)のリニア中央新幹線開業を見据え、日本の各地では、外国人観光客を含む観光の推進に力を入れております。

また愛知県では、平成26年12月に「あいち観光元年」を宣言し、「観光集客」を新たな戦略産業と位置づけ、現在、観光関係事業に全力で取り組んでおります。平成29年度から平成31年度において、国内で最大の観光キャンペーンであるJRグループのデスティネーションキャンペーンを核に、愛知県大型観光キャンペーンを実施することとしております。

市においては、平成30年度を開始年度とする「第2次稲沢市観光基本計画」の策定作業に取り組んでおり、国・県の動向や地域を取り巻く社会的環境の変化を踏まえた将来の観光ビジョンを新たに描くとともに、観光振興施策の戦略的、計画的な推進を図っているところです。

稲沢市観光協会は平成18年に設立され、本市の観光

振興の推進母体として御活躍していただいております。この3月には、愛知県植木センターで初春の風物詩として親しまれています『第11回いなざわ梅まつり』が開催されますが、観光協会が実施する事業は、参加者が毎年楽しみにしていただけるように定着してきたと感じております。イベント時には観光ボランティアの皆さんが、きめ細かな配慮と温かい心で、稲沢市キャンペーンレディの皆さんには、明るく元気な稲沢市をアピールしていただくなど、来場者にはおもてなしの精神で接していただいておりますことに深く感謝いたします。

観光を取り巻く環境は、訪日外国人旅行者数の急増、団体旅行から個人旅行へ、発地型観光(パッケージ型)から着地型観光(テーマ型・体験交流型など)への形態変化など、ここ数年で大きく変化をしております。観光事業の推進は地域を活性化化するものでありますので、稲沢市観光協会には事業の一端を力強く担っていただき、今後益々の活躍を御期待申し上げます。

「人にやさしく活力あるまちづくり」を目指し、稲沢市観光協会と連携し、より充実した事業を展開し、市民の皆様が誇りと愛着の持てる観光まちづくりの推進に努めてまいりますので、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、本年が皆様方にとって幸多い良き年となりますよう、心から御祈念申し上げます、年頭の御挨拶といたします。

## 平成28年度 稲沢市観光協会臨時総会を開催

去る11月17日(木)稲沢市産業会館において、臨時総会を開催いたしました。

今回の臨時総会では、稲沢市観光協会役員改選についてお諮りし、原案のとおり承認されました。空席となっております会長には、副会長の山田信行氏が、その後任の副会長には、稲沢商工会議所副会頭の田中稔氏が選任されました。



| 監事   | 理事  | 副会長  | 会長                                     | 名誉会長 | 相談役 | 顧問     |
|--|---|--|--|------|-----|--------|
| 松尾 山田 岩間 酒井 伊藤 家田 川瀬 山内 福島 宮野 櫻井 林 瀬川 愛甲 白比野 眞野 山田 加藤 吉川 鈴木 出口 | 宗典 福洋 章幸 治昭 鐵彦 鏡隆 晴雄 俊治 剛至 敬伸 公宏 昇寛 白比野 眞野 山田 加藤 吉川 鈴木 出口 | 森岡 野村 服部 加藤 鶴飼 林 浅野 渡邊 岩田 加藤 伊藤 横井 山脇 斉藤 水谷 田中 | 庸晃 正修 久見 克昌 茂彦 茂夫 良博 正行 睦郎 茂定 敏夫 光茂 宏稔 |      |     | 久保田 浩文 |

謹賀新年

稲沢市観光協会役員名簿  
(一月一日現在)





各種イベントに参加し観光PRと"いなっピーグッズ"や特産品の販売を行い、いずれの会場においても大変好評でした。



INAZAWA

## モニターバスツアー

観光協会では、「国府宮神社と文化財めぐり」と題して関係箇所を巡るモニターバスツアーを計画し、参加者を募集したところ、78名の方が参加されました。

コースの国府宮神社では正式参拝後、神職から通常では聞かれない神社の歴史や「いわくら」の説明を受けることもできました。見学先となった寺院では、稲沢市ふるさとガイドの会の方から説明を聞くことができました。また、祐専寺においては、観光ボランティアによる銀杏の試食やイチヨウの木の散策・説明もあり、いろいろ趣向を凝らしたツアーとなりました。

参加者のアンケート結果では、満足と答えた方が73%、次回も参加したいと答えた方が58%となっており、参加者には大変好評でした。

- 期 日／平成28年9月29日(木)
- 場 所／国府宮神社－長光寺－安楽寺(奥田)－矢合観音周辺  
【安楽寺(船橋)・国分寺・矢合観音・円光禅寺 など散策】－善光寺－祐専寺



INAZAWA

## 稲沢サンドフェスタ

今年度もイベント開催を二日間とし、砂像の制作期間(9月24日～10月7日)14日間、展示期間(10月8日・9日)に制作の様子や完成品の見学ができるようになりました。

来場者は、イベント開催の両日も朝9時頃まで雨天となったため、昨年よりは少ないものの35,000人が来場されました。

会場となりました国営木曽三川公園ワイルドネイチャープラザ、県営木曽川祖父江緑地、市営祖父江ワイルドネイチャー緑地の3施設の総合愛称として「サリオパーク祖父江」と平成24年3月決定されて、5回目のサンドフェスタでありました。砂像のテーマを「感動～2016～」と題して11作品が制作され、チーム名「HIDE」の題名「リオから東京へ」が金賞の栄冠に輝きました。その他のイベントとしては、サンドアート体験コーナー、宝さがし大会、燃料電池車「ミライ」の展示、飲食店コーナーなどたくさんの催し物が開催されました。

- 期 日／平成28年10月8日(土)・9日(日)
- 場 所／サリオパーク祖父江

また、今年度の「ご当地キャラクター大集合!」では、「いなっピー」を始め近隣の「いちみん」、「あまえん坊」、「い〜わくん」、など、県外からも「タボくん」、「いが☆グリオ」、「与〜くん」など32体が出演し、チビっ子達との触れ合いや、記念写真を撮っていました。

観光協会では、観光コーナーを設置し、稲沢市観光ガイドマップや観光チラシ等で観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



金賞 「リオから東京へ」 (チーム名/HIDE)

INAZAWA

## 稲沢まつり

今年は、15日(土)・16日(日)の二日間開催されましたが、天候にも恵まれ来場者は、両日で約94,000人の人出でありました。

国府宮神社参道の両側では、地元特産品販売などの出店や側道には露店が立ち並びました。また、参道屋外ステージでは、動物戦隊ジュウオウジャーショーや稲沢アイドルユニット(稲沢市PR大使)「LOVE♥INA30」などのライブが行われ、稲沢中学校会場では、大型フワフワハロウィン大迷宮、電動ミニSLいなっピー号で出発進行にはちびっ子の行列ができ大人気でした。

国府宮神社参道では、園児鼓笛隊パレードが行われましたが、園児の姿を必死に追う両親や祖父母の姿が印象的でした。

- 期 日／平成28年10月15日(土)・16日(日)
- 場 所／国府宮神社参道、稲沢中学校、名古屋文理大学文化フォーラムほか

名古屋文理大学文化フォーラムでは、INAZAWA ROCK FESTIVAL '16、秋の芸術祭・芸能発表会など多彩な催し物が行われました。

観光協会では、観光ボランティアの協力を得て稲沢市の観光PR、「いなっピーグッズ」の販売を行いました。



INAZAWA

## ご当地キャラ博 in 彦根

今年も好天に恵まれ、全国から230体以上のキャラクターが集まりさまざまなパフォーマンスを繰り広げ来場者を楽しませました。

会場内にはキャラクターステージや飲食グルメブースなどが設置され、約95,000人の来場者で賑わいました。

観光協会は、市職員とともに稲沢市をPRするため今年も参加しました。ステージでは、それぞれのご当地キャラクターが地元のPRを行い「いなっピー」は、多くの来場者との写真撮影にも

- 期 日／平成28年10月15日(土)・16日(日)
- 場 所／彦根中心市街地商店街一帯

応じ、人気を博しておりました。また、会場では、稲沢市の観光パンフレットの配布や、「いなっピーグッズ」の販売も行い、稲沢市のPRを行ってきました。



## 第19回そぶえイチョウ黄葉まつり

～日本一の黄金色 眺めてよし、翡翠色の銀杏 食べてよし～

第19回そぶえイチョウ黄葉まつりが、11月26日(土)～12月4日(日)の九日間にわたり開催されました。初日の26日(土)は、大村愛知県知事をはじめ多くの来賓をお迎えし、オープングセロモニーやイベント・アトラクションなど盛り沢山の催し物が開催されました。

今年も、テレビ局、ラジオ局、新聞等の報道関係からイチョウの黄葉や銀杏料理などについて、各種番組等に多く取りあげていただいた影響もあり、県内外から交通手段、イチョウ黄葉の見頃についての問い合わせなども頻繁にありました。期間中、山崎会場に出席された地元飲食組合のお店や物販店では、観光客で賑わい、農家の人たちも銀杏の販売に追われていました。

祖父江町体育館会場では、期間中の土曜・日曜日にはハワイアンダンスなどの舞台発表があり、「いなっピーふれあいステージ」、

●期 日／平成28年11月26日(土)～12月4日(日)

●場 所／山崎会場、祖父江町体育館

「歌謡ショー」や「LOVE♥INA30」なども開催され好評でした。観光協会では、市内外からイチョウ黄葉を見に来ていただいた観光客の方々に稲沢市の観光ガイドマップや、観光ガイドブック、祖父江善光寺東海別院、尾張七福神めぐり、荻須記念美術館などのチラシによる観光案内、「いなっピーグッズ」の販売をとおして稲沢市のPRも行いました。



## いなっピーバスに乗って観光地を巡ろう!

～秋です。いなっピーバスに乗って、自然の風情と歴史・文化を楽しもう～

観光協会では、市内外の方々に稲沢市の観光スポットを知っていただくため、市内の観光地を回るための巡回バスを1日8便(1時間おき)運行しました。

運行に当たっては、昨年実施のいなっピーバスを参考に、そぶえイチョウ黄葉まつりの開催期間に併せ、参加者を募集しました。

当日は、昼前から雨模様の天気でしたが、64名の参加がありました。

参加者は、観光ボランティアによる案内や観光協会が作成した「いなっピーバス一日乗り放題!」マップを手に、随所を巡りながら、ちょっぴりプレゼントに協賛していただいたお店などへ立寄りなど、1日楽しく観光地の散策をしていただきました。

また、スタンプラリーにも多数の方が応募され、厳正な抽選の結果、「はっぴーいなっピー賞」に野田さん始め10名、「らっきーいなっピー賞」に川口さん始め10名が当選されましたので、賞品を発送させていただきました。

●期 日／平成28年11月27日(日)

●コース／市役所 - 荻須記念美術館 - 国府宮駅 - 稲葉宿跡A - 稲葉宿跡B - 森上駅 - そぶえイチョウ黄葉まつり会場 - ふれあいの郷 - 刈萱堂 - 善光寺 - 祖父江支所 - 地泉院 - 下水道科学館 - 矢合観音 - 市役所



## いなっピーと一緒に稲沢市のPR活動



「いなっピー」と一緒に市内外に出かけ、観光パンフレットによる観光PRや「いなっピーグッズ」の販売を行いました。

### 小学生特別指導会兼 第7回全日本小学生ボウリング競技大会

●期日／平成28年8月7日(日)  
●場所／稲沢グラウンドボウル  
●参加者数／選手、役員監督等 約300人



### 第31回国民文化祭・あいち2016 合唱の祭典 in 愛知

●期日／平成28年11月6日(日)  
●場所／名古屋文理大学文化フォーラム



### 第10回愛知県市町村対抗駅競技大会 「愛知ふるさと市」

●期日／平成28年12月3日(土)  
●場所／愛・地球博記念公園  
●出展ブース／35ブース



## 観光ボランティア視察研修実施

●期 日／平成28年10月13日(木)

●場 所／観光協会集合出発 - 米原観光ボランティアガイド協会【交流研修会・意見交換】 - 昼食 - 醒ヶ井宿見学【ボランティアガイドによる観光案内】 - 観光協会到着解散

観光ボランティアの資質向上を目指すため、研修会を実施しておりますが、今回は滋賀県の米原観光ボランティアガイド協会を訪問して、研修を実施しました。

10月13日、秋晴れのもと会員16人と市、観光協会職員3人を乗せたバスは9時に稲沢市を出発し、10時30分に米原観光ボランティアガイド協会へ到着しました。

山本会長、大橋副会長から米原観光ボランティアガイド協会の組織・活動内容についての説明を受け、意見交換を行いました。そして昼食後には、実際に観光ボランティアガイドの方に醒ヶ井宿を案内していただき、ガイドの皆様の「観光の街づくり」に対する熱心な取組みを肌で感じ、帰途につきました。

午後5時には無事稲沢市に帰着し、内容の濃い一日の日程を終えることができました。





## 01 天下の奇祭『国府宮はだか祭』

●平成29年2月9日(木) ●場所/尾張大國霊神社(国府宮神社) TEL0587-23-2121  
 ●交通/名鉄名古屋本線『国府宮駅』から徒歩5分・JR東海道本線『稲沢駅』から徒歩15分

「はだか祭」は、正式名称を「儼追神事(なおいしんじ)」と言います。今から約1240年前、奈良時代の神護景雲元年(767年)称徳天皇が、「全国の国分寺に悪疫退散を祈れ」と勅命を發した際、尾張国司が総社である尾張大國霊神社に於いても祈禱したのが、儼追神事となって現在まで伝えられています。

旧暦正月13日、はだか祭が行われる国府宮神社一帯は祭りの興奮に包まれます。

祭りは、42歳と25歳の厄年の男を中心に、尾張一円からサラシのフンドシ、白足袋をつけただけの数千人の裸男が、裸になれない老若男女が厄除けの祈願を込めた布(なおいぎれ)を結び付けた「なおい笹」を、裸男たちが身代わりに捧げて威勢よく拝殿へ駆け込みます。

また、国府宮神社参道では、神男(しんおとこ)に触れて厄を落とそうと数千人のはだか男がもみ合います。



**1**  
なおいしんじ しめばらたてしき  
儼追神事(はだか祭) 標柱建式

旧暦正月2日午前9時に行われる標柱建式。「儼追神事」と大書された標柱が楼門前に建てられ、祭りの開幕を告げます。



**2**  
なおいにん(しんおとこ) せんていしき  
儼負人(神男) 選定式

午前10時、志願者を儼追殿に集めてその年の神男を選定。神男は三日三晩、儼追殿にこもり祭りの本番にそなえます。



**3**  
おおかがみもちほうのう  
大鏡餅奉納

お供えとして奉納される大鏡餅は、なんと50俵どり(約4トン)という巨大な代物。祭りの前日、神男に迎えられ拝殿へ納められます。



**4**  
なおいしんじ  
儼追神事(はだか祭)

旧暦正月13日午後3時過ぎ、神男に触れて厄を落とそうとする裸男たちが神男を待ち構えて揉み合う。そこへ神男がとびこみ、祭りはクライマックスを迎えます。



**5**  
よなおいしんじ  
夜儼追神事

午前3時、罪穢をつきこんだ土餅を背負った神男が境外へと追い出されます。そして、神男は途中で土餅をすてて帰宅し、神職はこの餅を地中に埋め、罪穢を封じ込めます。



**6**  
おおかがみもちもちきりはじめ  
大鏡餅餅切始

旧暦正月14日午前8時からは大鏡餅を切って参拝者に授与。この餅を食べると無病息災で過ごせるとの言い伝えがあり、多くの参拝者が集まります。

### ◆はだか祭関係行事日程表(平成29年)

| 月日       | 時刻    | 祭典・行事                              | 旧暦月日  |
|----------|-------|------------------------------------|-------|
| 1月29日(日) | 午前9時  | ① なおいしんじしめばらたてしき<br>儼追神事標柱建式       | 正月2日  |
| 1月29日(日) | 午前10時 | ② なおいにん(しんおとこ)せんていしき<br>儼負人(神男)選定式 | 正月2日  |
| 2月2日(木)  | 午前9時  | おおかがみもちちぎ<br>大鏡餅米洗                 | 正月6日  |
| 2月3日(金)  | 午前5時  | おおかがみもちちぎ<br>大鏡餅餅搗                 | 正月7日  |
| 2月6日(月)  | 午後5時  | なおいにん(しんおとこ)せんろう<br>儼負人(神男)参籠      | 正月10日 |
| 2月7日(火)  | 午前9時  | つちもちつきしんじならびにひらしたため<br>土餅搗神事並秘符認   | 正月11日 |
| 2月7日(火)  | 午前9時  | おおかがみもちかざりつけ<br>大鏡餅飾付              | 正月11日 |

| 月日       | 時刻      | 祭典・行事                      | 旧暦月日  |
|----------|---------|----------------------------|-------|
| 2月8日(水)  | 午後1時    | ③ おおかがみもちほうのう<br>大鏡餅奉納     | 正月12日 |
| 2月8日(水)  | 午後7時    | ちやうやしんじ<br>庁舎神事            | 正月12日 |
| 2月9日(木)  | 午後3時    | ④ なおいしんじ<br>儼追神事(はだか祭)     | 正月13日 |
| 2月10日(金) | 午前3時    | ⑤ よなおいしんじ<br>夜儼追神事         | 正月14日 |
| 2月10日(金) | 午前8時    | ⑥ おおかがみもちもちきりはじめ<br>大鏡餅餅切始 | 正月14日 |
| 2月13日(月) | 午後7時    | まといしんじ<br>的射神事             | 正月17日 |
| 2月19日(日) | 午前9時30分 | ちやかい<br>なおい茶会              |       |

## 稲沢市キャンペーン・レディーを募集

市の観光事業やイベントなどを、より一層華やかに盛りあげるため、歴史と文化のまちにふさわしい、知的で活動的なかたを募集します。

募集人員：3名

- 応募資格：① 満18歳から満35歳までの女性  
 ② 市、観光協会などの事業に1年間参加できる方  
 ③ 親権者、雇用主の承諾を得た方  
 ④ 類似した職務の任期中でない方

応募期間：平成29年1月4日(水)～1月26日(木)

応募方法：申込用紙に必要事項を記入し、上半身の写真を添えて、稲沢市観光協会へ

申込用紙：稲沢市(本庁、支所、市民センター)及び観光協会にあります  
 面接審査：2月10日(金)

主な業務：観光協会及び市等が開催するイベント、各種行事のPR活動  
 任期：平成29年4月1日～平成30年3月31日

その他：① 日当 9,200円 ② 交通費、食費は支給しません  
 ③ 被服、その他装飾品は貸与します

④ 勤務中の災害は加入保険の範囲で補償します

問合せ先 稲沢市観光協会 電話 0587-22-1414

## 02 第11回いなざわ梅まつり

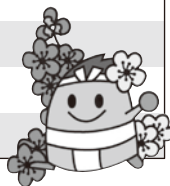
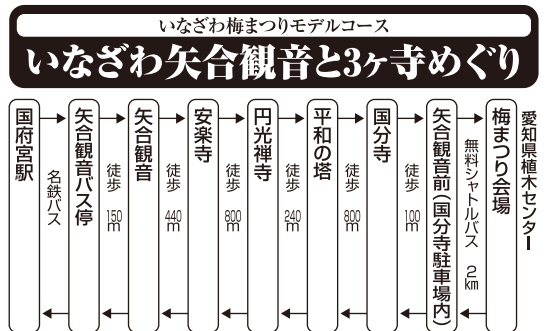
“みんなでいこまいかあ〜”稲沢へ!!

●平成29年3月4日(土)・5日(日) ●AM9:30~PM4:00  
 information ●場所/愛知県植木センター

稲沢市は、全国的に植木、苗木の日本4大生産地の一つとして知られており、植木、苗木の研究・研修機関として愛知県植木センターが開設されています。園内には多種多様な樹木が集められており、四季折々に花が咲いております。とりわけ、梅は104種類、200本余りが植栽されており、全国的にも大変貴重な見本園であり開花時期には多数の見学者で賑わいます。

早春に美しい花を咲かせる梅の花を、皆様に堪能していただくため、愛知県植木センターの協力を得まして第11回いなざわ梅まつりを開催します。

| イベント内容          | 日時                     |
|-----------------|------------------------|
| 写真・俳句大会入賞作品展    | 3月1日(水)~3月5日(日)        |
| 写真コンテスト         | 2月27日(月)~応募締切まで        |
| 俳句大会            | 2月27日(月)~3月5日(日) 執務時間中 |
| 盆梅・お雛様・吊るし雛展    | 3月1日(水)~3月5日(日)        |
| 飲食・抹茶コーナー       | 3月4日(土)・5日(日)          |
| 稲沢市特産品の販売       | 3月4日(土)・5日(日)          |
| 植木・苗木の販売        | 3月4日(土)・5日(日)          |
| 郵便切手販売          | 3月4日(土)・5日(日)          |
| 樹木ウォッチング        | 3月4日(土)・5日(日)          |
| 樹木医による緑化相談      | 3月4日(土)・5日(日)          |
| 愛知県緑化樹木共進会受賞写真展 | 3月4日(土)・5日(日)          |
| スタンプラリー         | 3月4日(土)・5日(日)          |
| 子供向けコーナー        | 3月4日(土)・5日(日)          |
| 健康相談コーナー        | 3月4日(土)・5日(日)          |



## 03 へいわさくらまつり

●平成29年4月1日(土)  
 information ●場所/平和町体育館

《イベント》ステージイベント、飲食コーナー、抽選会など  
 平和町には、総延長約2.8kmを桜並木でつないでいる桜ネットワークがあります。

ここには、八重桜を中心に約60種類の里桜およそ1400本が咲き誇り、3月から4月末まで楽しむことができます。



## 04 稲沢桜まつり

●平成29年4月1日(土)  
 information ●場所/国府宮神社参道一帯

《イベント》ステージイベント、茶会、写生大会、飲食コーナーなど  
 国府宮神社参道に咲く満開の桜の下で、茶会や演奏会、写生大会などの催しが開かれます。  
 夜には桜をライトアップし、美しい桜が浮かび上がります。



## 稲沢市観光協会会員を募集しています

会費：法人会員 一口5,000円以上 / 個人会員 一口1,000円以上

平成18年8月7日に稲沢市観光協会が設立して、はや12年目を迎えようとしています。会員の皆様方のご理解とご協力によりまして、事業も着実に進んでいるところで。

今後、さらに観光都市として、市内外からのお客様へのおもてなしのため、観光施設や特産品など観光資源の整備はもとより、歴史、文化、景観といった地域観光への体験の機会や、情報発信などの拡充が必要です。

そこで、稲沢市の観光振興を図るため、観光協会の組織基盤の強化と活性化のため、多くの会員の募集をいたします。お知り合いなどで未加入の方がお見えになりましたら、是非、会員への勧誘をお願いいたします。